

親子で楽しく！子どもたちの、自分の未来を守る「力」と「思考」を育てる
「ハローキティ」と幼児誌「おともだち」がSDGsを学べる新連載を開始

第1弾「おともだちピンク」2020年2月15日(土) 講談社より刊行

講談社こども倶楽部 <http://kodomo.kodansha.co.jp/>

株式会社講談社(本社：東京都文京区、代表取締役社長：野間 省伸)と株式会社サンリオ(本社：東京都品川区、代表取締役社長：辻 信太郎)は、国連とパートナーシップを結び#HelloSDGsを推進している「ハローキティ」と、3・4・5歳児向け幼児誌「おともだち」がタッグを組み、2月29日(土)発売の4月号より「親子で学べるSDGs」企画の連載をスタートすることを発表いたします。親子でいっしょに自分たちの生きる地球について考え、未来を守る「力」と「思考」を培うことが目的です。それに先駆け、2月15日(土)発売の増刊誌「おともだちピンク」では、2ページにわたってキティが読者の子どもたちをナビゲートするページを展開いたします。文部科学省より、2020年度に小学校、2021年度に中学校にて、SDGsに関する内容を更に盛り込んだ学習指導要領に基づいた授業カリキュラムが始まることが発表される中、創刊から48年目を迎えた「おともだち」、昨年45周年を迎えた「ハローキティ」、半世紀もの間、子どもたちを魅了してきた雑誌とキャラクターだからこそできる、地球を守る「力」と「思考」を幼少期から育てる取り組みです。全国書店・スーパー・コンビニエンスストアなどで発売いたします。



©KODANSHA ©'76, '20 SANRIO 著作(株)サンリオ

【書誌情報】

タイトル：「おともだちピンク」（年4回刊行）
発売日：2020年2月15日(土)（Amazon等にて予約注文受付中）
定価：900円(税込み)
ISBN：978-4-06-020630-5



タイトル：「おともだち 4月号」（月刊）
発売日：2020年2月29日(土)（Amazon等にて予約注文受付中）
定価：800円(税込み)
ISBN：978-4-06-020040-2



【連載の内容】

「おともだちピンク」では、「陸の豊かさ」をテーマに、絶滅危惧種の動物に関するクイズや、「地球のためにできる3つのこと」など具体例を挙げ、子どもが興味を持って、楽しく読み進められる構成にしています。「おともだち4月号」からは、子どもたちにとって身近なテーマからアプローチし、現在地球に起こっている問題が何か、このままだと、どうになってしまうのか、自分たちにできることは何かを、キティといっしょに考えていきます。また、ページの各所には「おうちの方へ」という、子どもと読む際にどのような説明をしたら良いかについてのアドバイスがあり、親子でいっしょにSDGsへの理解を深めることができます。



©KODANSHA ©'76, '20 SANRIO 著作(株)サンリオ

【講談社とSDGs】

2018年12月に発売した『FR a U SDGs 世界を変える、はじめかた』は、日本で初めてSDGsに全面的に取り組んだ女性誌として注目を浴び、数々の賞を受賞しました。講談社では、FR a Uをトップランナーとして、報道・ライフスタイル・コミック・児童向けなどあらゆるメディアを通じ、サステナブルな社会の達成に寄与していきます。2020年1月には、講談社として「SDGメディア・コンパクト」に加盟しました。国連が発足させた「SDGメディア・コンパクト」に参加する報道機関やエンターテインメント企業は、それぞれの価値観やルール、方針を守りながら、その資源を活用してSDGs達成を促す活動を行います。「SDGメディア・コンパクト」への参加を通じて、「おもしろくて、ためになる」の精神をDNAとする講談社だからこそ可能な役割を担ってまいります。

【ハローキティとSDGs】



©'76, '20 SANRIO 著作(株)サンリオ

ハローキティは世界中のみんなが笑顔でなかよく暮らせる世界が続くように、一人ひとりの思いやりでSDGsを達成したいと願っています。2018年の公式YouTubeチャンネルの立ち上げとともに、SDGsの各ゴールを分かりやすく伝える動画の配信をスタートし、2019年9月には正式に国連と共同企画「#HelloGlobalGoals」を始動することを発表しました。共同企画では活動の場を世界に広げ、各国の現状やSDGsへの取り組みを動画でグローバルに向けて紹介しています。

【SDGs(持続可能な開発目標)とは？】



持続可能な開発目標(SDGs)とは、地球を守り、繁栄を促進するために、貧しい国、豊かな国、中所得国を含めたすべての国による行動を求める呼びかけです。貧困をなくすためには、経済成長を築き、気候変動と環境保護に取り組みながら、教育、健康、社会的保護、雇用機会など様々な社会的なニーズに同時に対処する戦略が必要であるという認識のもとにつくられた目標です。日本としてもSDGsに積極的に取り組んでいます。